

理学療法士の視点から パラスポーツ の傷害を防ぐ

学術研究とスポーツ現場の双方での活動を継続し、発展させることで、私たちはすべての人に平等な教育、健康と福祉が提供される社会の創生に寄与したいと考えています。



浦邊 幸夫 教授
(保健学分野／スポーツリハビリテーション学)

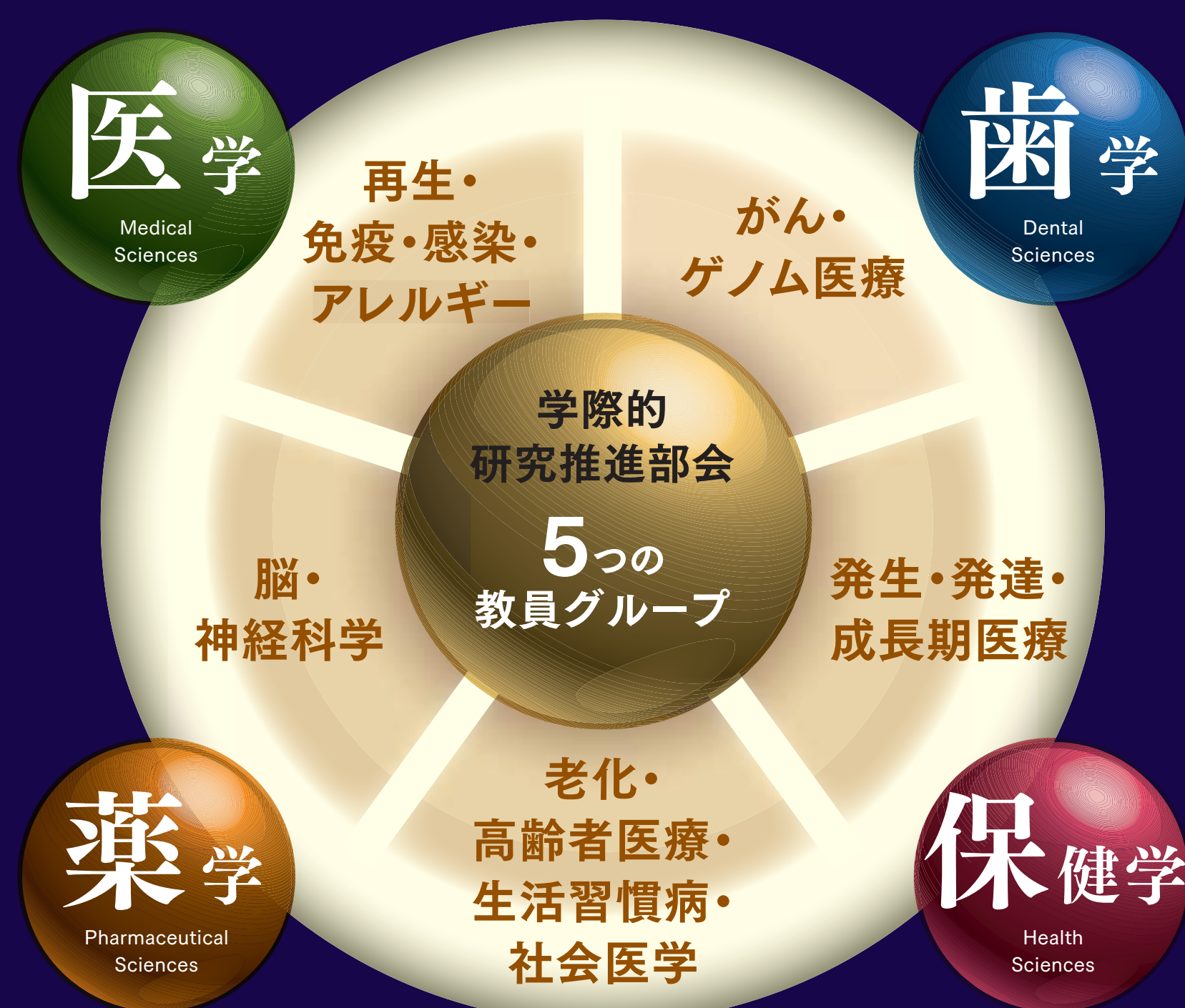
持続可能な発展を導く 科学に貢献する

医学・歯学・薬学・保健学の
4分野が連携・融合した
2専攻9プログラム

広島大学



分野を超えた融合研究



①がん・ゲノム医療、②脳・神経科学、③再生・免疫・感染・アレルギー、④老化・高齢者医療・生活習慣病・社会医学、⑤発生・発達・成長期医療の5グループで構成される「学際的研究推進部会 (Interdisciplinary Research Section)」では、学際的研究の推進と協業的研究の発展を目指しています。本研究科の教授はいずれかのグループに所属し、新たな研究展開と社会実装を推進する研究活動の基盤を担います。

田中 純子 理事・副学長
(医学分野／疫学・予防医学)



カンボジアのウイルス肝炎を 「見える化」

2030年ウイルス肝炎の
世界elimination達成に向けた貢献

広島大学肝炎・肝癌対策プロジェクト研究センターでは、日本におけるC型肝炎ウイルス肝炎、B型肝炎ウイルス肝炎などの肝炎ウイルス感染状況の把握および肝炎ウイルス感染後・排除後の長期経過に関する疫学研究を実施し、政策の企画立案、基準策定、行政施策の科学的根拠となる基礎資料を提示するための研究を行っています。2016年よりカンボジア保健省等の国際共同研究のもと、カンボジア全土を対象とした肝炎ウイルス感染状況全国調査を実施しました。この功績により、2023年4月にカンボジア王国政府からロイヤル・モニサラボン勲章 (コマンドール) を受章し、また、同年12月には「The Coalition for Global Hepatitis Elimination (CGHE)」より「7 hepatitis elimination champions for 2023」の1人に選ばれました。

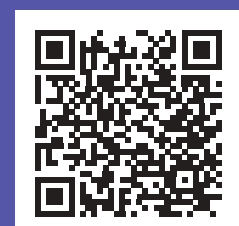


ロイヤル・モニサラボン勲章受章



7 hepatitis elimination champions for 2023

科学研究科



研究科案内

詳しい情報はこちら



WEBサイト

研究能力を備えた高度専門医療人を養成

医歯薬学専攻

[博士課程 (4年制)]

研究能力に裏打ちされ、かつ医療系の幅広い知識と学識を有した高度専門医療人としての指導的臨床能力を有した医師、歯科医師、薬剤師またはこれらの枠を超えた先端的生命科学研究に精通した人材を養成します。

- 医学専門プログラム ■歯学専門プログラム
- 薬学専門プログラム ■放射線医学専門プログラム

医療分野の専門人材や生命科学研究者を養成

総合健康科学専攻

[博士課程前期 (2年制) / 博士課程後期 (3年制)]

QOL (生活の質) 向上や健康寿命の延伸に貢献し、多職種連携、地域包括ケアなど新たな医療提供体制において幅広い知識を有し、リーダーシップをとることができる看護師、理学療法士、作業療法士、歯科衛生士、歯科技工士、医学物理士、公衆衛生学の専門人材や医歯薬学分野の生命科学研究者などを養成します。

- 保健科学プログラム ■薬科学プログラム
- 生命医療科学プログラム ■公衆衛生学プログラム
- 医学物理士プログラム

活性化したT細胞*によって
破壊されるがん細胞

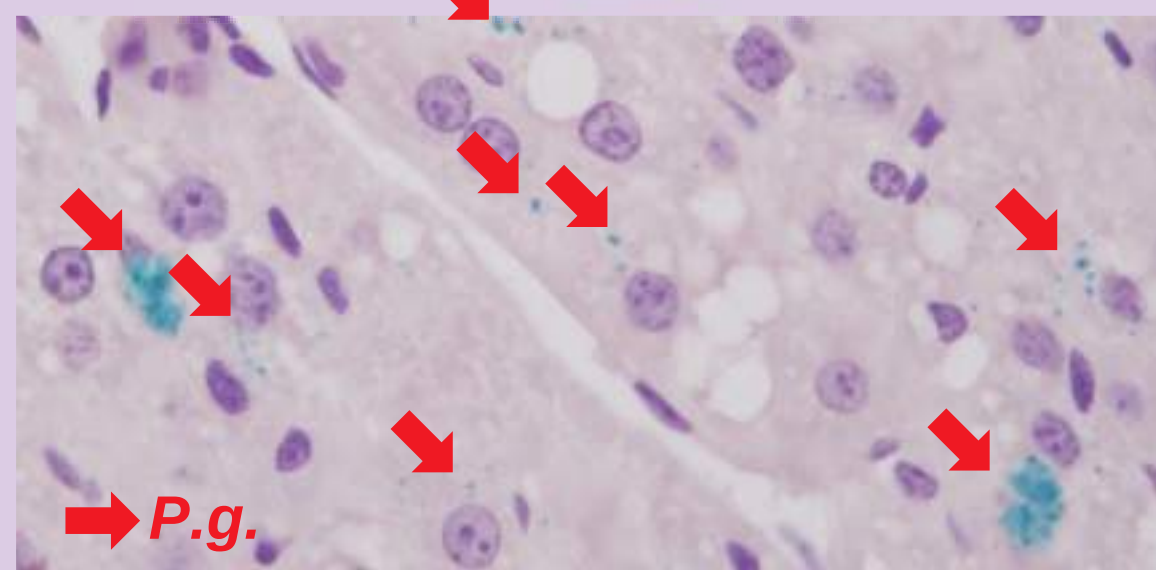
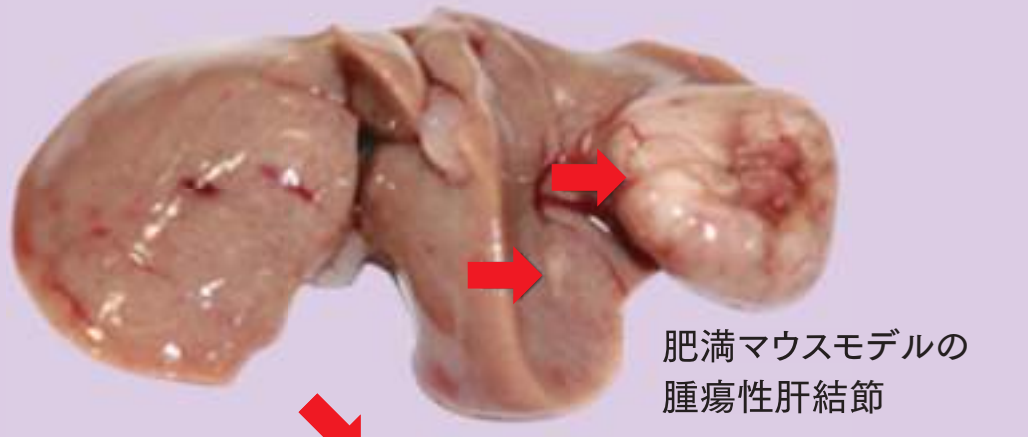


独自のアプローチで 免疫の謎に迫る

感染症やがんから健康を守るためには、免疫機能を上手に利用することが重要です。しかし免疫が働く仕組みはまだまだわからないことだらけです。私たちは免疫記憶の中心を担う記憶B細胞から抗体を取り出し活用する研究や、体内で抗体が生まれる過程をコンピューター上に再現する研究、がんを攻撃する免疫を誘導する研究など、独自のアプローチで医学の発展に貢献します。
(医学分野／免疫学：保田朋波流教授)

「肥満者の肝がん」 と「歯周病」の 関連を解明

肥満を原因とする非アルコール性脂肪性肝炎 (NASH) 患者では、肝硬変や肝がんが発生することが知られています。肥満マウスモデルを用いて、歯周炎病巣から体内に侵入した歯周病原細菌 *Porphyromonas gingivalis* (P.g.) が、脂肪肝組織で肝がんの前段階である腫瘍性肝結節の形成率と大きさを促進し、NASH関連肝がんの発生に関わることを世界で初めて明らかにしました。全身の健康維持のために、口腔の健康管理が重要であることを広く発信していきます。
(歯学分野／口腔顎顔面病理病態学)



研究成果を 発信中！



HIROSHIMA UNIVERSITY
BioMed News

年2回発行でバックナンバーも公開しています。



研究成果に係る報道発表

本研究科が発表した最新の研究成果をご覧ください。

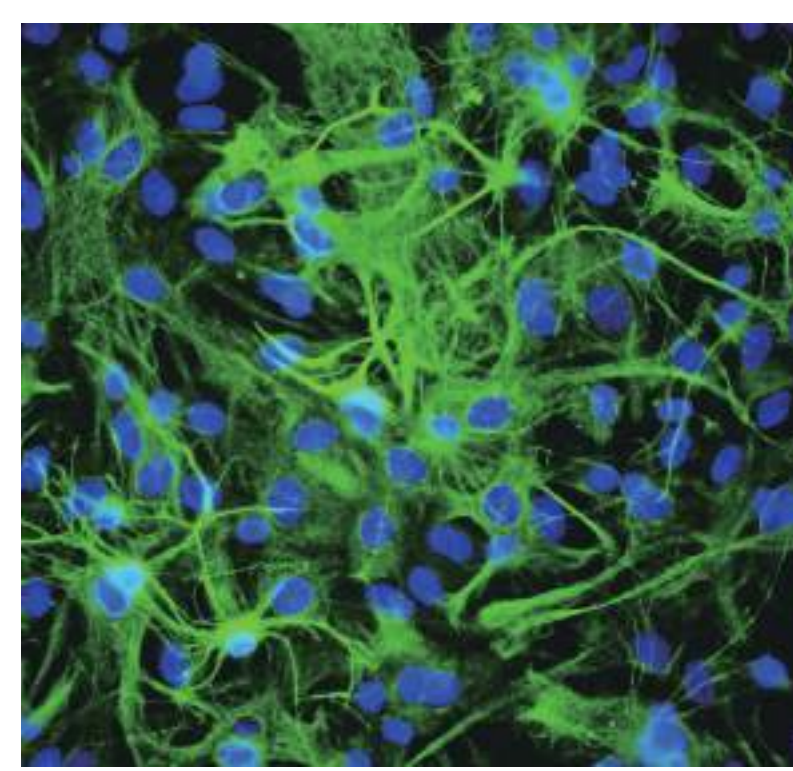


令和5年度文部科学大臣表彰「若手科学者賞」受賞

タンパク質が新薬開発の鍵を握る

内田 康雄 教授
(薬学分野／分子システム薬理学)

病気の原因や薬の標的となる主要な分子は「タンパク質」です。人間の体には、約2万種類のタンパク質が存在します。新薬開発では、どのタンパク質が最も重要かを知らることが重要です。私たちは最先端の技術と装置を用いてあらゆるタンパク質の存在量 (mole) や病気になった時の存在量の変化量を一斉に測ることで、病気を治療する上で最も重要なタンパク質を絞り込んでいます。



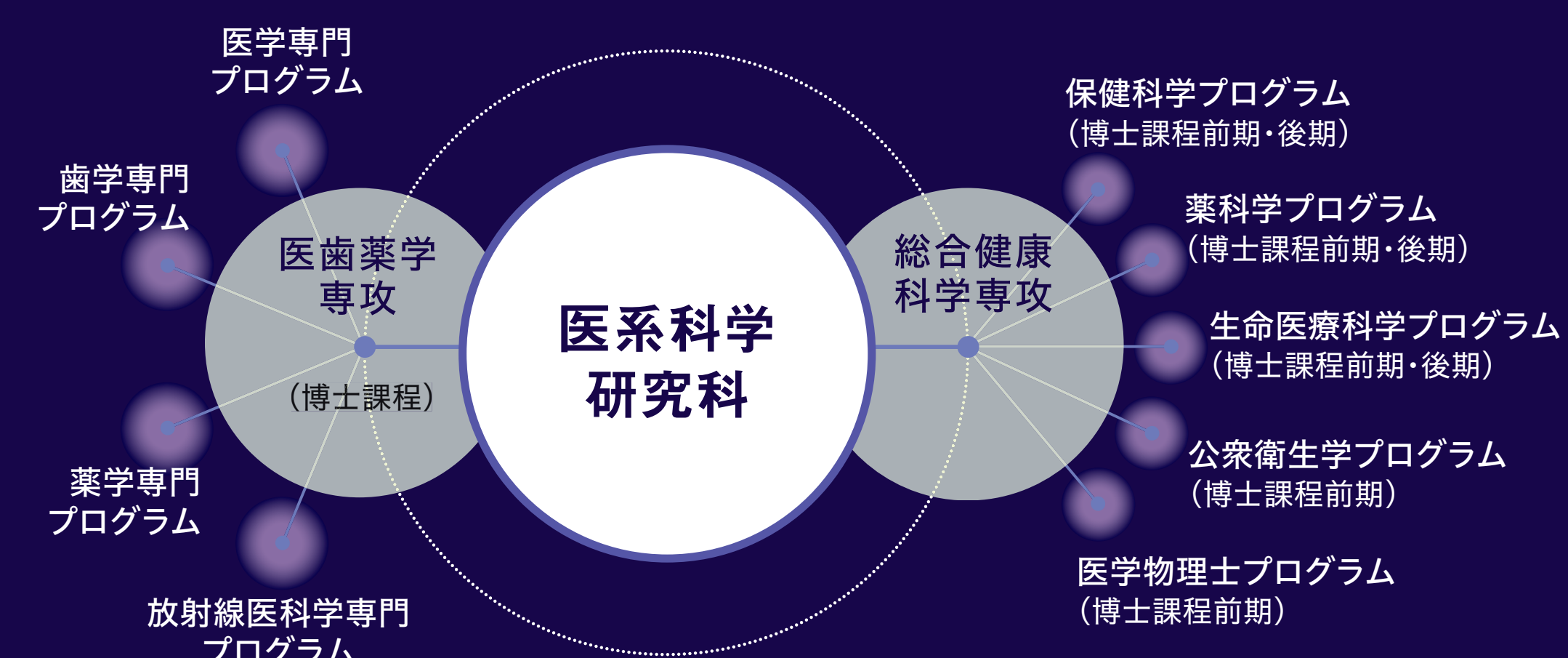
脳疾患で異常活性化する星状細胞



細胞の中で病気のタンパク質の種類と量を決めるための質量分析装置

特色ある教育プログラム& 専門性を磨く多彩なコース

医学・歯学・薬学・保健学をさらに深化させ、高度なチーム医療を担うことができる高度専門医療人、そして複合領域や新領域で活躍できる「持続可能な発展を導く科学」に貢献できる人材を養成します。



専攻と並行して専門性を高めるコース

研究科の修了要件を満たし、所定単位を修得することでコース修了が認められます。

- 遺伝カウンセラー養成コース
- 死因究明専門家養成コース
- がん専門医養成コース
- ゲノム編集先端人材育成プログラム メディカルコース
- 医学物理士コース
- 放射線災害復興を推進するフェニックスリーダー育成プログラム など